

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

病院前 12 誘導心電図が急性心筋梗塞患者における Door to device time に与える効果に関する観察研究

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦 2014 年 1 月から西暦 2019 年 12 月の間に受診
- 2) 受診科：久留米大学病院高度救命救急センター
- 3) 対象疾患名：急性心筋梗塞と診断された方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【入院日、退院日、年齢、性別、身長、体重、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、血管疾患、脳血管疾患、心筋梗塞、冠動脈形成術、冠動脈バイパス手術）、喫煙歴、家族歴、搬入手段、救急搬送記録（発生場所、心拍数、血圧、酸素飽和度、酸素投与量、発症時間、覚知時間、救急隊接触時間、現場到着時間、搬送開始時間、病院到着時間）、カテーテル検査入室時間、再灌流時間、脈拍数、血圧、酸素飽和度、血液検査（CBC、TP、Alb、AST、ALT、LDH、CK、CKMB、BUN、Cr、UA、HbA1c、LDL、HDL、TG、NT-proBNP、TropT）、動脈血液ガス検査（PaO₂、PaCO₂、HCO₃、BE、乳酸値）、特殊薬使用の有無、機械補助の有無、冠動脈責任病変、心エコー図検査（LVEF 値）、退院時 CPC】

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、急性心筋梗塞における病院前での 12 誘導心電図使用の有無が来院から再灌流までの時間に与える影響について明らかにする研究実施のため

【研究（利用）期間】

久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2022 年 12 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：

久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 助教 本間 文博

問い合わせ担当者：久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 本間 文博

電話：0942-35-3311（内線 11865）

E-mail: takehomma@med.kurume-u.ac.jp